

映画・ラジオ・LRT・シビックプライドを活用した 富山の地域文化の活用と発展を企図した『とやまレールライフ・プロジェクト』

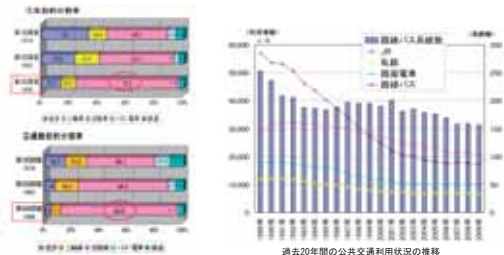
実施主体
 ■富山市
 ■(株)新日本コンサルタント
 ■藤井聡(京都大学大学院教授)
 ■高原兄(ミュージシャン)



富山市の公共交通を取り巻く現状

■クルマへの高い依存度

- 世帯当たりの自家用車保有台数が多く
1.74台/世帯 全国第2位(富山県)
資料出所:北陸信越運輸局富山支局(平成18年3月末現在)
- 交通分担率におけるクルマの占める割合が高い
自動車分担率約7~8割
- 公共交通の利用者の大幅な減少
ここ20年間で約4割の利用者減少

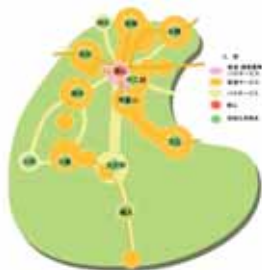


富山市が取り組む公共交通の整備

■富山市のまちづくりの基本方針

鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現

- お団子と車の都市構造を目指す
- 車:一定水準以上のサービスレベルの公共交通
- お団子:串で結ばれた徒歩圏



■公共交通整備事業の実施事例

富山ライトレールの整備

全国初の本格的LRTシステムの整備

市内電車環状線化事業

市内電車を延伸し、環状化



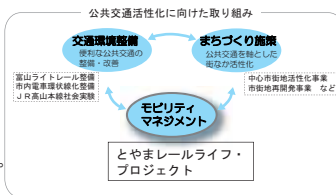
鉄軌道をはじめとする公共交通の「質」を上げることに積極的に取り組む

とやまレールライフ・プロジェクトの概要

■富山型モビリティマネジメントの展開

富山ライトレールや市内電車環状線の整備など、公共交通の活性化により良質な公共交通を市民に見せることによる公共交通利用啓発を推進。

さらに良質な公共交通の潜在能力を最大限を引き出すため、「とやまレールライフ・プロジェクト」と称したモビリティ・マネジメントを展開。



■とやまレールライフ・プロジェクトの主な取り組み

- ①ラジオ番組
「高原兄のかしこいクルマの使い方考えんまいけ」の放送
- ②公共交通沿線居住者への「クルマ依存からレールライフへ！」を呼びかけるダイレクトメッセージの発信
- ③とやまレールライフ・プロジェクトのホームページからの情報発信
- ④とやまレールライフフォーラムの開催によるMMメッセージの発信

映画・ラジオ・LRTなどを活用したMMメッセージの発信

映画やLRT、地域への愛着・誇りに関する話題や要素を取り入れて、市民に対してMMメッセージを伝える工夫を行った。

LRT等の活用

■ロゴマークへのLRTデザインの活用

ロゴマークのデザイン検討に富山ライトレールのデザイン検討にかかわったデザイナーを起用。富山の公共交通のシンボリックなLRT等をイメージさせソフト・ハードの一体的なブランドイメージ戦略を採用



■ラジオ番組においてLRTの話題を設定

ライトレールが先進的であることを紹介

テーマ「富山ライトレールは先進的ですよ!!」

《放送内容骨子》

- ・路面電車でLRTになっているのは日本中で富山ライトレールとセントラムだけ。
- ・多くの都市でも同じようにしたいと思っても、実現していない。
- ・当たり前のように見えるかもしれませんが、先進的です。

富山のLRTのことを賞賛する内容とすることで、地域への誇りを刺激・調達することを企図

ラジオの活用

■ラジオ番組に地元で著名なラジオパーソナリティを起用

富山県で著名なラジオパーソナリティである高原兄氏を起用し、かつ冠番組として、富山市民がMMメッセージを受け入れやすくすることを狙った。



富山市在住
地元ラジオ局にてレギュラー番組多数

地域文化と連携し、「地域の誇り」を刺激・調達しつつMMメッセージを発信

地域映画の活用

■ラジオ番組における地域映画の話題の活用

富山を舞台とした映画「RAILWAYS」の富山先行公開日に合わせラジオ番組の内容を設定

テーマ「駅」「電車」の情緒

《放送内容骨子》

- ・映画RAILWAYSが公開
- ・電車にしかない情緒(電車からの風景、車内での方言など)がある。
- ・ふるさとを思い浮かべる駅の情景がある

こころの一番大事なものでもある鉄道を残すためにも、今回映画でも観て、たまには電車を使ってください!

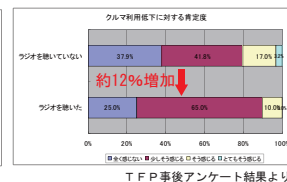
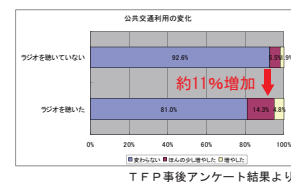


地域映画を活用した話題を盛り込み、地域文化と連携したMMメッセージを発信した

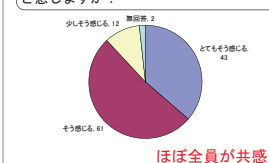
効果

- ラジオ番組の聴取率は約7% (推計で約3万人の富山市民へのメッセージの発信)
- 他の取り組みを含め、約4万人(富山市民の約10%)にMMメッセージが届けられた
- ラジオ聴取により、公共交通利用が約11%増加
- ラジオ聴取者のクルマ利用低下への肯定度(意識変容)が約12%増加 (TFP事後調査結果より)

- フォーラム参加者のほぼ全員からのMMメッセージの共感 (フォーラム参加者アンケート結果より)



「公共交通(バスや電車)を使う暮らしっていいもの、なかなか、いいものなかもしれないなあ・・・」と感じますか?



フォーラム参加者アンケート結果より